60. 笑い Laughter

笑いはとても変容をもたらす力ですから、ほかにはなにも要りません。もし自分の悲しみを祝祭に変えたら、あなたは自分の死を復活に変容することもできるでしょう。

私は中国の三人の神秘家たちのことを聞いたことがある。誰も彼らの名前を知らない。彼らは『三人の笑う聖者たち』としてのみ知られている。彼らはほかにはなにもしたことがなかったからだ――彼らはただ笑った。

この三人の人びとはほんとうにすばらしかった。笑うと、彼らの腹は波打った。それは伝染病になった――市場全体が笑ったものだ……。少しの間、新しい世界が開いた。
彼らは、人びとが笑うのをただ助けながら、中国中を移動した。悲しい人びと、怒っている人びと、欲の深い人びと、嫉妬深い人びと、彼らはみな、彼らといっしょに笑い出した。
そして多くの人びとがその鍵を感じ取った――人は変容することができるのだ。
そのうちに、ある村で、三人のなかのひとりが死ぬという事態が起こった。村人は言った。「さあ、面倒なことになるぞ。
彼らの友だちが死んだんだ――彼らは泣かなければならない」。だが、二人は踊り、笑い、死を祝っていた。

村の人びとは言った。「もう、これはあんまりだ。これは礼儀にかなっていない。人が死んだときに笑って踊るのは、神聖を汚すことだ」
彼らは言った。「お前たちはなにが起こったのか知らないのだ！ 私たち三人はみな、いつも考えていた。こいつが勝った。
私たちは負けたのだ。一生涯、私たちは彼といっしょに笑ってきた。どうして私たちが、ほかのことをして彼の最後の門出を見送ることができるだろう？ 私たちは笑わなければならない。私たちは楽しまなければならない

これが、自分の全生涯を笑った人間への唯一可能な別れだ。そして、もし私たちが笑わなかったら、彼は私たちのことを笑っ
て、こう考えるだろう。『ばかだな！ それで、お前たちはまたしてもわなに堕ちたのか？』。私たちは彼が死んでいるとは見ない。どうして笑いが死にえよう？ どうして生が死にえよう？」

そして、身体が焼かれることになって、村の人びとは言った。「儀式の規定どおり、私たちは彼を入浴させよう」。だが、
このふたりの友人は言った。「いや、私たちの友人はこう言った。『どんな儀式も行わないでほしい。それに、私の服は変えないでもらいたい。私を風呂に入れないでほしい。あるがままの私を、燃えている薪の上にただ乗

それから、突然、偉大な出来事が起こった。身体が火の上に置かれたとき、その老人は最後のトリックを仕掛けておいたのだ。彼は自分の服の下にたくさんの花火を隠していた。そして突然、" ディワリ " になった！ す

もしあなたが自分の悲しみを祝祭に変えたら、そのときには、あなたは自分の死を復活に変えることもできる。だから、まだ時間があるうちに、そのアートを学ぶがいい。
YOGA : THE ALPHA AND THE OMEGA, Vol.4, pp.252-254

Revision #2
Created 5 October 2024 23:29:33 by ゆう
Updated 6 October 2024 00:04:12 by ゆう